



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社コーチ・エィ 上場取引所 東  
 コード番号 9339 URL <https://www.coacha.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 鈴木 義幸  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 専務執行役員CFO（氏名） 瀬瀬 順史（TEL）03-3237-8050  
 半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,783	8.6	41	43.5	92	95.7	58	36.5
2023年12月期中間期	1,642	—	29	—	47	—	43	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 75百万円（—%） 2023年12月期中間期 △36百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	25.36	—
2023年12月期中間期	18.83	—

（注）1. 2022年12月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2023年12月期中間期の対前年中間期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	4,346	3,002	69.1
2023年12月期	4,305	2,942	68.3

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 3,002百万円 2023年12月期 2,942百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,960	8.5	400	37.9	370	23.9	230	203.1	98.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	2,342,175株	2023年12月期	2,320,953株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	29株	2023年12月期	29株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	2,326,521株	2023年12月期中間期	2,295,142株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は2024年8月9日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、本説明会で使用した資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結会計期間 .....	
中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結会計期間 .....	
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの経営環境といたしましては、社会経済活動の正常化を背景に、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢に伴う資源・エネルギー価格の上昇や為替相場の円安進行など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、各企業は、次世代リーダー人材の育成、従業員のエンゲージメントの向上、ダイバーシティーへの対応、組織風土の変革など、いわゆる人的資本経営に対する関心がますます高まっております。

当社グループにおいては、パーパス「私たちは、世界中の人が対話に参加できる機会を創り出し、社会に貢献しています。」の実現を念頭に置き、システムミック・コーチング<sup>™</sup>による組織開発ビジネスやコーチング人材開発ビジネスにおいて営業活動とコーチングセッションの実施に注力いたしました。具体的には、当社の強みであるフォーラムやウェビナーなどへの集客力を生かしたマーケティング活動や、クライアント企業のエグゼクティブとの深い繋がりを活かしたエグゼクティブ向けのイベントを開催することなどによって、新規クライアントを増やし、既存クライアント企業と繋がり続ける活動に努めました。さらに、2023年11月に販売を開始したAIコーチング「Amit」を、クライアント企業に対して導入開始いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は1,783,273千円(前年同期比8.6%増)、営業利益は41,726千円(前年同期比43.5%増)、経常利益は92,205千円(前年同期比95.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は58,997千円(前年同期比36.5%増)となりました。

なお、当社グループはコーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。また、当中間連結会計期間における経営成績の分析は下記のとおりであります。

#### (売上高)

当中間連結会計期間においては、システムミック・コーチング<sup>™</sup>による組織開発ビジネスにおいては、受注高が前年同期比で増加したことに加え、2023年に受注した案件のコーチングセッションが順調に進捗いたしました。さらに、「コーチ・エイ アカデミア」などのコーチング人材開発ビジネスが堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は1,783,273千円(前年同期比8.6%増)となりました。

#### (売上原価)

コーチ人員数増加に伴う社員人件費の増加や、AIコーチングなどコーチング関連のIT投資・情報セキュリティ投資に伴う業務委託費の増加などにより、売上原価は925,576千円(前年同期比17.6%増)となりました。

#### (販売費及び一般管理費)

営業支援プラットフォームの利用拡大による業務委託費の増加やオフィス増床に付随する事務用消耗品費の増加分を、研修費の減少分が上回り、販売費及び一般管理費は、815,970千円(前年同期比1.3%減)となりました。

#### (営業外損益)

営業外収益は50,478千円(前年同期比129.5%増)となりました。主な内容は、円安進行による為替差益49,130千円です。営業外費用は生じませんでした。

#### (特別損益、親会社株主に帰属する中間純利益)

特別利益は63千円(前年同期比99.9%減)となりました。内容は、事務用機器の売却による固定資産売却益です。特別損失は62千円(前年同期比99.6%減)となりました。内容は、事務用機器の廃棄による固定資産除却損です。

以上の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は58,997千円(前年同期比36.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は4,346,016千円(前連結会計年度末比40,554千円増加)となりました。これは主に、コーチング関連のIT投資により無形固定資産が60,755千円増加したことによるものです。

負債は1,343,826千円(前連結会計年度末比19,611千円減少)となりました。これは主に、賞与支給等により賞与引当金が53,613千円減少したことによるものです。

純資産は3,002,190千円(前連結会計年度末比60,166千円増加)となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬

による新株式発行30,984千円により、資本金が15,492千円増加し、資本剰余金が15,492千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,343,452千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、45,121千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、120,653千円の支出となりました。これは主に、サービス提供のためのソフトウェア開発やオフィス増床のための工事代に伴う固定資産取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、46,448千円の支出となりました。これは、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月9日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,403,321	3,343,452
売掛金	132,523	191,656
棚卸資産	43,375	19,271
その他	139,707	140,005
流動資産合計	3,718,927	3,694,385
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	86,467	81,461
工具、器具及び備品(純額)	12,269	11,953
有形固定資産合計	98,736	93,415
無形固定資産		
ソフトウェア	180,948	186,200
その他	93,678	149,182
無形固定資産合計	274,627	335,382
投資その他の資産		
投資有価証券	38,736	45,288
保険積立金	-	8,387
敷金及び保証金	119,473	121,419
繰延税金資産	38,918	31,695
その他	16,043	16,043
投資その他の資産合計	213,171	222,833
固定資産合計	586,534	651,630
資産合計	4,305,462	4,346,016

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	99,208	88,399
未払金	131,582	111,364
未払法人税等	12,434	28,640
未払消費税等	19,101	33,188
未払費用	13,618	5,041
前受金	935,021	979,109
賞与引当金	89,952	36,339
その他	21,124	19,672
流動負債合計	1,322,045	1,301,757
固定負債		
退職給付に係る負債	1,591	1,680
資産除去債務	38,460	39,048
その他	1,340	1,340
固定負債合計	41,392	42,068
負債合計	1,363,438	1,343,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	589,813	605,305
資本剰余金	578,170	593,662
利益剰余金	1,783,141	1,795,720
自己株式	△39	△39
株主資本合計	2,951,085	2,994,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,099	28,645
為替換算調整勘定	△33,160	△21,103
その他の包括利益累計額合計	△9,060	7,542
純資産合計	2,942,024	3,002,190
負債純資産合計	4,305,462	4,346,016

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,642,597	1,783,273
売上原価	786,798	925,576
売上総利益	855,798	857,697
販売費及び一般管理費	826,711	815,970
営業利益	29,087	41,726
営業外収益		
受取利息	137	127
為替差益	21,117	49,130
その他	744	1,220
営業外収益合計	21,999	50,478
営業外費用		
支払手数料	2,037	-
上場関連費用	1,678	-
その他	258	-
営業外費用合計	3,974	-
経常利益	47,111	92,205
特別利益		
固定資産売却益	-	63
投資有価証券売却益	59,680	-
その他	474	-
特別利益合計	60,154	63
特別損失		
固定資産除却損	7,464	62
関係会社整理損	9,937	-
特別損失合計	17,401	62
税金等調整前中間純利益	89,864	92,206
法人税、住民税及び事業税	8,326	27,942
法人税等調整額	38,318	5,265
法人税等合計	46,645	33,208
中間純利益	43,218	58,997
親会社株主に帰属する中間純利益	43,218	58,997

## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	43,218	58,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,953	4,545
為替換算調整勘定	16,347	12,057
その他の包括利益合計	△79,606	16,602
中間包括利益	△36,387	75,600
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△36,387	75,600

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	89,864	92,206
減価償却費	35,311	43,464
のれん償却額	13,071	-
受取利息及び受取配当金	△137	△127
為替差損益(△は益)	△20,977	△41,036
上場関連費用	1,678	-
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△63
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△59,680	-
固定資産除却損	7,464	62
関係会社整理損	9,937	-
売上債権の増減額(△は増加)	△70,144	△56,562
棚卸資産の増減額(△は増加)	200	24,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,743	△15,020
前受金の増減額(△は減少)	51,014	35,937
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,459	14,059
賞与引当金の増減額(△は減少)	△214,822	△54,071
その他	△82,434	398
小計	△293,856	43,349
利息及び配当金の受取額	137	161
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△129,861	1,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	△423,580	45,121
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,520	△29,741
有形固定資産の売却による収入	-	63
無形固定資産の取得による支出	△62,813	△81,330
投資有価証券の売却による収入	63,680	-
敷金及び保証金の差入による支出	△1,620	△2,366
敷金及び保証金の回収による収入	1,647	1,108
保険積立金の積立による支出	-	△8,387
その他	474	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,152	△120,653
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	185,361	-
上場関連費用の支出	△18,594	-
配当金の支払額	△43,716	△46,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,050	△46,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,046	62,110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△280,635	△59,868
現金及び現金同等物の期首残高	3,260,933	3,403,321
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,980,298	3,343,452

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年5月14日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、資本金が15,492千円増加し、資本準備金が15,492千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が605,305千円に、資本剰余金が593,662千円となっております。